

(26) 資源回収ステーション

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民の資源搬出の利便性を向上し、回収の促進を図るため、資源の常設の回収場所として資源回収ステーションを設置しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 資源回収ステーション	小牧市大字小牧原新田 423番地	330.5	昭和46	鉄骨造	

※ 第2資源回収ステーションがリサイクルプラザ内で平成26年7月から稼働している。

② 事業内容

資源回収ステーションでは、プラスチック製容器包装、空きびん、空き缶、金属類、ペットボトル、古紙・古布、蛍光管類、廃食用油の持込みを受け付けています。

③ 開業時間等

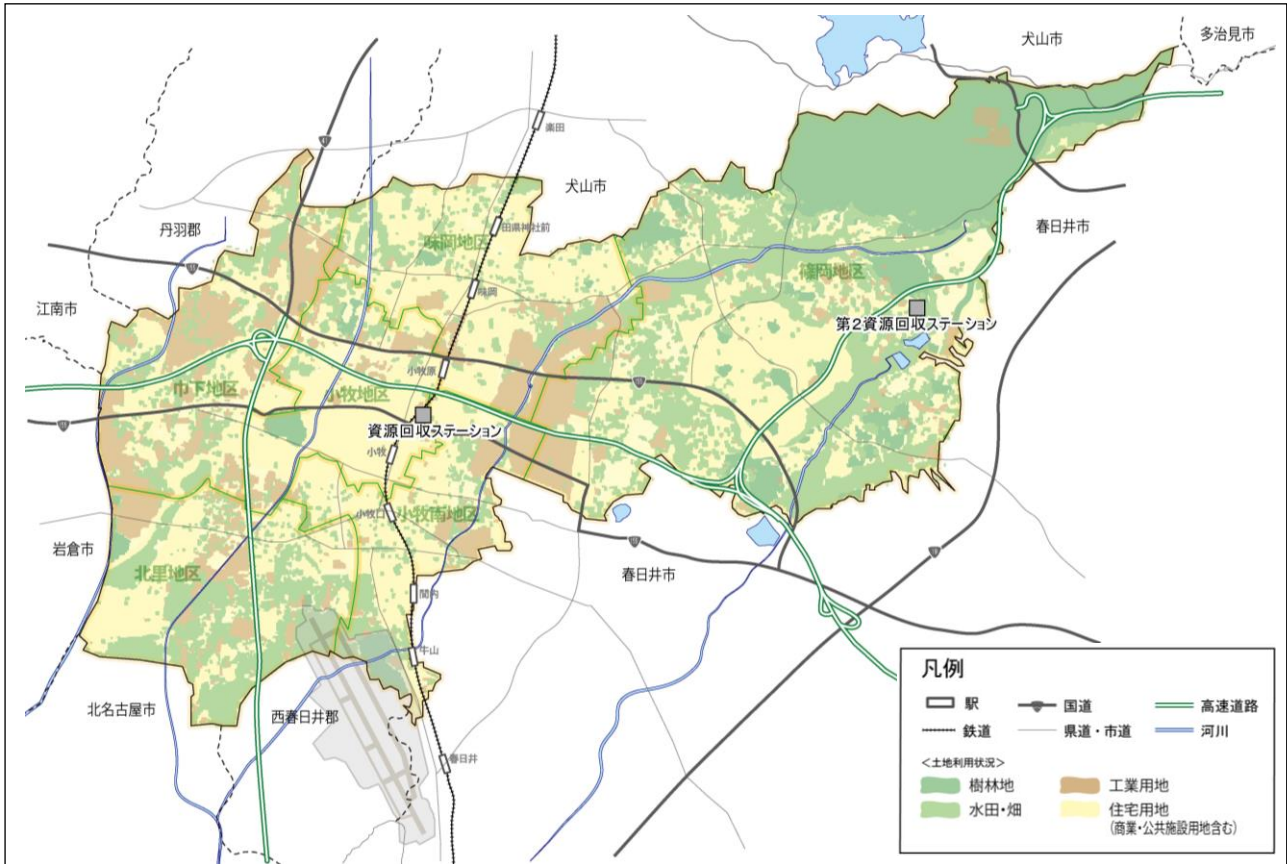
持込みごみの受付は、毎日(1月1日～1月3日を除く)午前8時30分から午後5時まで行っています。

④ 利用方法及び使用料

費用は無料です。

⑤ 配置状況

図表 資源回収ステーション位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 資源回収ステーションの建物総合評価結果

平成25年度の資源回収ステーションの建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理(H24年度)						
		建築年度	延床面積(m ²)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数	築年数または直近の大規模改修後経過年数	車いす用エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	トイレの洋式化	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)		床面積当たり(円/m ²)
1	資源回収ステーション	昭和46	330	-	42		42	倉庫のため評価対象外とする					×	×	×	委託料に含まれるため評価対象外とする					

①、③、④の記載例	実施済み: ○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※①の「不要: -」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。
	未実施: ×	
	不要: -	

資源回収ステーションは、築42年と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事等の対応が必要な施設です。(パターンB)

パターンB 老朽化

・かなり老朽化が進行している

該当施設: 資源回収ステーション
建築年度: 昭和46

< 1 施設 >

コメント: ・老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

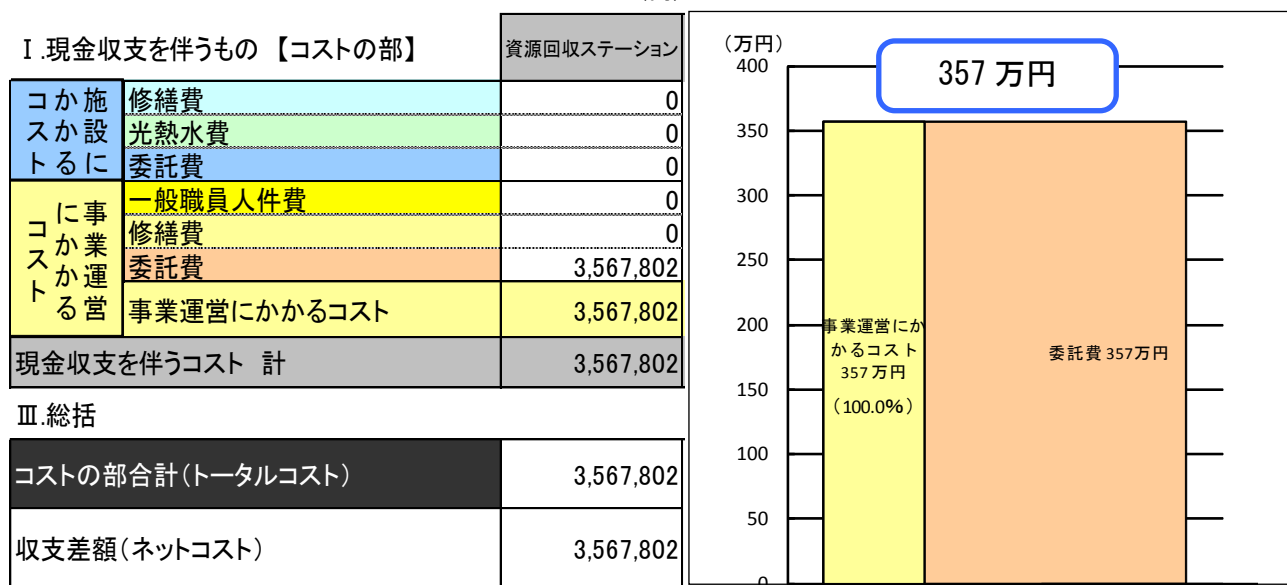
② コスト状況

資源回収ステーションの年間トータルコストは、357 万円です。

年間トータルコストのうち、事業運営にかかるコストは 357 万円（100%）で、委託料となっています。

図表 施設別 市の行政コスト計算書（平成 24 年度）

(円)



3) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 資源回収ステーションは築 42 年が経過し、老朽化への対応が求められており、施設の長寿命化等の検討が必要です。

施設写真



資源回収ステーション